



歌と絵の物語

The Elegant World of Yamato-e

Lyrical and Narrative Paintings

世界 雅やかな やまと絵の 世界

2023
7/17 [月・祝] - 7/10 [土]



泉屋博古館
SEN'I OKU
HAKUKOKAN
MUSEUM

主催：公益財団法人泉屋博古館、京都新聞
後援：京都市、京都市教育委員会、京博連、
公益社団法人京都市観光協会、NHK京都放送局
同時開催：青銅器館「中国青銅器の時代」

企画展 青銅器館 方々 観ただけです
● 20名以上の団体は2割引、障がい者手帳
ご表示の方は付添者1名まで無料

開館時間 午前10時～午後5時
休館日 月曜日
（入館は午後4時30分まで）
一般 800円、高大生 600円
中学生以下無料

その男、信夫摺の狩衣をなむ着たりける
むかし、男の京の里に、しるよして
なまめいたはらはらからすむけり。この男のいまみ
くてありければ、心地まどひにけり。その、着たりける
その男、信夫摺の狩衣をなむ着たりける
いよの御時に、衣もまたさざらたまひけるな
ぬが、ぐれ
きもおとし
仕へにつ
細げに里がなるを、いよの御時に、衣もまたさざらたまひけるな
れより下
負ふ積もりに
なるもの思ほ

祇園辻
おごれ
さ
の夜
とし。
沙羅双樹の花
の響あり。
行無常の響あり。
からず、

平家物語 大原 源氏 藤山 十六世紀
伊勢物語 藤原 崇徳派
三十六歌仙 藤原 松花堂 東葉
（江戸、元和二年、一八二〇）
柳橋 舟岡 藤原 江戸 十七世紀
浮舟 藤原 江戸 十七世紀
豊後 藤原 北朝 十四世紀
源氏物語 藤原 江戸 十七世紀
竹取物語 藤原 江戸 十七世紀

うた たう たう 絵

古来、語り読み継がれてきた物語は、古くから絵巻物など絵画と深い関係にありました。和歌もまた、三十一文字の世界が絵画化されたり、絵から受けた感興から歌が詠まれたりと、絵画との相互の刺激から表現が高められてきました。

物語絵や歌絵の特徴のひとつは、繊細な描写と典雅な色彩。宮廷や社寺の一般の絵師が貴人の美意識に寄り添い追求した「やまと絵」の様式を継承することでしょう。そして、ストーリーに流れる時間を表すかのような巻物、特別な場面を抽出してドラマティックに描き出す屏風など、長大な画面にさまざまな表現が生まれました。古典文学は、後世の人々が自身に引き寄せて味わうことで、読み継がれ輝き続けてきました。それに基づく絵画もまた同様です。本展では、近世の人々の気分を映し出す物語絵と歌絵を、館蔵の住友コレクションから選りすぐってご紹介します。雅やかで華麗、時にちょっとユーモラスな世界をお楽しみください。

歌と物語の絵

世界 雅やかな やまと絵の



左: 柳橋柴舟図屏風 江戸・17世紀 下: 松花堂昭乗 三十六歌仙書画帖 江戸・元和2年(1616)



伊勢 藤原興風 大中臣頼基

Lyrical and Narrative Paintings: The Elegant World of Yamato-e

悲喜こもももの逸話、あまたの恋の物語



おوراかて素朴な人間賛歌

山寺の庵主は平氏の生き残り。合戦物語の幕切れはあまりにも美しい

平家物語・大原御幸図屏風 桃山・16世紀



源氏物語図屏風 江戸・17世紀

町絵師の源氏絵は、絢爛豪華で見せ場も目白押し。時にスキャンダルの香りも



この場面はいつ見ても泣ける

謎の鳥人間が入浴中。中世の宮廷人も夢中になった鳥天狗の物語



竹取物語絵巻 江戸・17世紀

是害房絵巻 南北朝・14世紀 重要文化財

ものかたる絵



交通アクセス
 京都市バス JR・新幹線・近鉄電車「京都駅」/京阪電車「三条駅」から5系統 阪急電車「烏丸駅」から32、203系統 地下鉄烏丸線「丸太町駅」から93、204系統 5、93、203、204系統「東天王町」下車、東へ徒歩200メートル 32系統「宮ノ前町」下車すぐ
 地下鉄 東西線「蹴上駅」から徒歩約20分
 休館日・開館時間および展示内容を変更する場合があります。当館のホームページ、SNS等で最新の情報をご確認ください。

泉屋博古館 SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM
 〒606-8431 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24
 Tel. 075-771-6411 <https://www.sen-oku.or.jp/kyoto>

会期中の催し | 別途入館料が必要です。予約制・先着順。受付開始: 5月10日(水) 11時 電話 075-771-6411 または当館ホームページにて

特別企画
「京ことばで楽しむ源氏物語図屏風」 女房語り 山下智子
 7月3日(月) 14時30分開演 会場: 企画展示室 / 定員: 30名 / 会費: 2,000円
 一人の女房の視点から綴られる源氏物語。目の前の屏風に散りばめられた名場面を、いにしえの心を受け継ぐ京ことばで語ります。目と耳で物語の魅力に触れる優雅なひととき。

スライドトーク
 会場: 当館講堂 / 14時~15時 / 各定員: 50名 / 入館料のみでご参加いただけます。
 6月17日(土)、7月1日(土) 「歌と物語の絵」 泉屋博古館学芸部長 実方葉子
 6月24日(土)、7月8日(土) 「中国青銅器の時代」 泉屋博古館学芸員 山本 堯